

基本目標「創造」に代わる言葉

委員の皆様からの提案、職員プロジェクトチーム及び事務局による検討の結果、次の言葉が候補として挙がりました。

「発展」

多様な人々との学び合いと協働により、社会を持続的に発展させていく力の育成

「参加」

①多様な人々と学び合い、協働しながら、発展し続ける社会づくりに参加する力の育成

②誰もが積極的に参加することにより、発展し続ける社会を創る力の育成

「実践」

多様な人々との学び合いや協働により、発展し続ける社会を創る実践力の育成

「創造」「創出」

多様な人々との学び合いや協働により、発展し続ける社会を創る力の育成

（意見）

- ・「挑戦」は個人が備える力、「共生」は他者との関わり、「創造」は社会との関わりについて表わしているため、個人の力よりも「創造」や「発展」のような社会と関わりを表わしている言葉がよいのではないか。
- ・現在使用している小学校6年生の国語の教科書は、「新しいものが私たちの手から生まれる」という意味から「創造」という名前がついていることもあり、子どもでも理解できるのではないか。
- ・子どもは、幼児も含めて横文字に親しんでいるため、「挑戦＝チャレンジ」、「共生＝インクルーシブ」、「創造＝クリエイト」という説明は分かりやすいと思う。

（参考）「創造」の解説

変化の激しい社会の中では、よりよい社会の在り方を考え、新しく柔軟な考え方を生み出し、試行錯誤を繰り返して課題の解決に繋げていくことが必要となります。誰もが生涯にわたり活躍できるよう、共に学び、学んだことをいかせる環境を整えるとともに、地域活動やスポーツ・文化活動などを通じたつながりを大切にして社会を創る人材を育成していきます。地域と学校の連携・協働については、コミュニティ・スクールを始めとした地域と学校が協働した活動を推進するとともに、市内の大学や企業等の協力を得た学校づくり・地域づくりに取り組む必要があります。